

News Release

2010年11月24日

市民による衣料循環の仕組みづくり！

「服からエネルギーを作り出せ！～新しいリサイクルのかたち～」

原宿・表参道で衣料循環調査を実施します

リサイクルに関する技術と仕組みを提案するベンチャー企業の日本環境設計会社（東京都渋谷区／代表取締役社長：岩元美智彦／以下 日本環境設計）は、特定非営利活動法人シブヤ大学（東京都渋谷区／学長：左京泰明／以下 シブヤ大学）と共催し、渋谷区原宿エリアの地域住民などから不要となった衣料品の回収や、リサイクルに対する市民の意識調査を行います。調査結果から、衣料品の効率的なリサイクルシステムの構築を目指します。

本調査は、日本環境設計が独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下 NEDO）から委託された調査研究事業とリンクして実施されます。

日本環境設計は、昨年、経済産業省および独立行政法人中小企業基盤整備機構の支援を受け、小売店舗での回収実験を実施しました。今年度は NEDO の支援をうけ、新たな衣料品回収拠点の一つとして、地域を限定し不要になった服の回収を行います。



シブヤ大学 JEPLAN

■衣料循環調査の流れ

この調査は、東京都渋谷区原宿エリアを中心に、衣料品を回収する実証実験イベントです。参加者には回収する品物を「使えるもの」「使えないもの」の2種類に分別してもらい、会場にお持ちいただくことで、衣料循環への参加と、繊維製品リサイクルへの理解を深めていただくことを目指します。回収された衣料品のうち、「使えるもの」は主にリユースへ、「使えないもの」は主に綿繊維をバイオエタノールとして、その他の素材はコークスや炭化水素油へとリサイクルします。この回収の仕方は、市民の方々のアイデアから生まれた回収分別方法です。

【回収する品物の種類】

1、まだ、「使える」もの（衣料として活用できるもの） 販売、交換などとして活用（再利用）します。

2、もう、「使えない」もの（処分してほしいもの） バイオエタノールその他燃料や原料として活用（再資源化）します。

【主な調査項目】

回収量、参加人数、2種類（使えるも／使えない）割合、回収参加意識、コスト意識

■市民による草の根衣料回収活動

この調査は、市民による草の根衣料回収活動“衣料循環ゼミ”と連携し、実施されます。～私たちが毎日身に付ける、衣料品の事について考えてみよう～。このゼミは、NPO法人シブヤ大学の「シブヤ油田ヲ発掘セヨ！」の授業をきっかけに誕生した市民活動です。不要になった衣料の回収は私たちの社会に必要な不可欠であるという思いから、ボランティアスタッフによる回収活動が始まりました。一方、循環型社会を目指す日本において、様々なリサイクルの法令整備がなされる中で、衣料循環の仕組みづくりは進んでいないのが現状です。

News Release

家庭から排出される衣料品は毎年 103 万トン。一部は中古製品などに再利用されますが、65 万トンが一般廃棄物として焼却され埋め立てられています（※1）。今回の調査活動との連携を通して、市民の草の根活動から衣料循環の方法を検討し、提案することを目指します。

※1 独立行政法人中小企業基盤整備機構が実施した「繊維製品 3 R 関連調査事業（H21 年度）」報告書より抜粋

■ 調査概要

1. 実施期間

第 1 回： 2010 年 11 月 28 日（日）11:00～15:00

2 回目以降（予定）：2010 年 12 月 26 日（日）、2011 年 1 月 10 日（月祝）

2. 実施場所：ケア・コミュニティ 原宿の丘（東京都渋谷区神宮前 3-12-8）

回収対象：回収できるもの：衣料品（下着類は除く）

回収できないもの：泥や油で汚れているもの、濡れているもの、靴、バッグ、ぬいぐるみなど

3. 回収とともにアンケートによる市民の意識調査を実施します

■ 主催者等概要

1. 日本環境設計株式会社概要

代表者	代表取締役社長 岩元 美智彦
資本金	1, 000 万円
所在地	東京都渋谷区恵比寿 4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー18F
主な事業内容	リサイクル技術および仕組みを提供するコンサルティング事業

2. 特定非営利活動法人シブヤ大学

代表者	学長 左京 泰明
所在地	東京都渋谷区宇田川町 5-2 渋谷神南分庁舎 2 階（株）渋谷サービス公社内
主な事業内容	社会教育の推進を図る活動、子どもの健全育成を図る活動

3. お問い合わせ先

○日本環境設計株式会社：リサイクルに関する技術と仕組みを提案するベンチャー企業です。

HP：<http://www.jeplan.co.jp/>

東京都渋谷区恵比寿4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー18F

TEL03-5789-5579 FAX03-5789-5501（担当：吉村知恵 080-3096-0824）

○特定非営利活動法人シブヤ大学

HP：<http://www.shibuya-univ.net/>

東京都渋谷区宇田川町5-2 渋谷区神南分庁舎2階

○衣料循環ゼミ：NPO法人シブヤ大学の「シブヤ油田ヲ発掘セヨ！」の授業をきっかけに誕生した市民活動です。不要になった衣類の回収は私たちの社会に必要な不可欠であるという思いから、ボランティアスタッフによる衣料回収活動が始まりました。

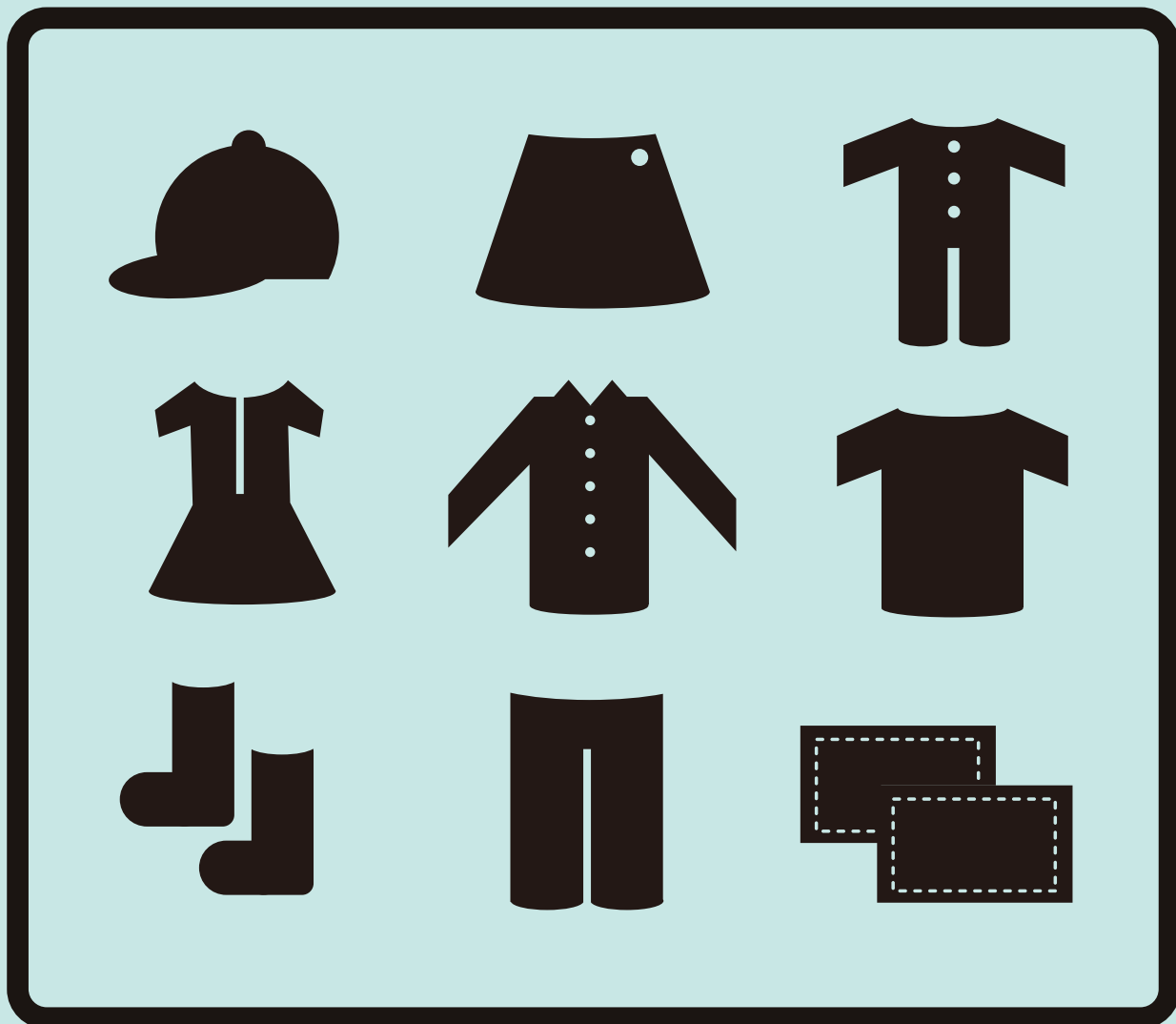
HP：<http://cm-abrdn.blogspot.com/>

■ 参考資料

- ・別添チラシ（A4・カラー表裏）

以上

あなたの服、バイオエタノールとして
再資源化できるんです。



不要な服、眠ってませんか？

廃棄され、焼却され埋立てられる服は日本で年間 197 万トン（なんと東京ドーム 3 個分!!）。ゴミ問題も深刻だけど、そのまま灰にしてしまうのはもったいない。服を回収し“リユース”（再利用）や“バイオエタノール”（再資源）として活用する試み。皆さんもこの新しいリサイクルシステムづくりに参加しませんか？



衣料回収イベント開催！ 詳しくは裏面をご覧ください。

開催日：2010年11月28日（日）・12月26日（日）・2011年1月10日（月・祝）

衣料回収イベント開催！服がバイオエタノールへ！！

今回のイベントはいらなくなった衣料を回収する実証実験イベントです。
参加して下さる方は、回収する品物を2種類に分別してお持ちください。

回収できるもの：衣料（下着類は除く）



帽子、ワイシャツ、Tシャツ、ベビー服、タオル類、
ズボン、スカート、ワンピース、セーター、靴下など

※回収できないもの：泥や油で汚れているもの、濡れているもの、靴、バッグ、ぬいぐるみなど

2種類に分別してお持ちください

- もう、「使えない」もの バイオエタノールその他燃料や原料として活用（再資源化）できます。
- まだ、「使える」もの 販売、交換などとして活用（再利用）できます。

開催日：2010年11月28日（日）・12月26日（日）・2011年1月10日（月・祝）

開催時間：11:00～15:00

開催場所：ケア・コミュニティ 原宿の丘（旧原宿中学校）
渋谷区神宮前 3-12-8

共催

日本環境設計株式会社

渋谷区恵比寿 4-20-3
<http://www.jeplan.co.jp/>
「綿からバイオエタノールを生産する」技術を中心に
リサイクルに関する技術と仕組みを提案するベンチャー企業です。

特定非営利活動法人シブヤ大学

渋谷区宇田川町 5-2 渋谷区神南分庁舎2階（株）渋谷サービス公社内
<http://www.shibuya-univ.net/>
生涯学習やまちづくりを目的として、渋谷区内の
様々な場所を教室に毎月授業を開催しているNPO法人です。

運営

衣料循環ゼミ

<http://cm-abrdn.blogspot.com/>
NPO法人シブヤ大学の「シブヤ油田ヲ発掘セヨ！」の授業をきっかけに誕生した市民活動です。
不要になった衣料を回収し再利用・再資源化することは私たちの社会に必要不可欠であるという思いから、ボランティアスタッフによる衣料回収活動が始まりました。

衣料回収、リサイクルについてのお問い合わせ先：日本環境設計株式会社（担当 吉村） TEL 03-5789-5579
シブヤ大学、衣料循環ゼミについてのお問い合わせ先：特定非営利活動法人シブヤ大学 TEL 03-3770-4285



お願い

本イベントは、日本環境設計がNEDO（独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）から委託された調査研究事業とリンクして実施されています。回収された衣料は調査に基づき集計され、同社の技術およびネットワークによりリユース・リサイクルされます。衣料循環の仕組みづくりのため、調査にかかるデータ収集にご協力いただきますようお願い申し上げます。